

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 10 回さがみはら文化振興懇話会				
事務局 (担当課)		文化振興課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 0 2 (直通)				
開催日時		平成 29 年 3 月 22 日 (水) 13 時 00 分 ~ 14 時 20 分				
開催場所		市役所会議室棟 2 階 第 3 会議室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり) 欠席者 8 人				
	その他					
	事務局	4 人 (文化振興課長、他 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 市からの情報提供について (2) 情報交換 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

2 議 題

(1) 市からの情報提供

- ・人材バンクに変わる文化団体に係る活動情報の周知について事務局より説明
今後どのようにして裾野を広げていくか課題であると認識している。
まずはこのような形でスタートさせていただきたい。
過去に出演依頼がありトラブルになったケースがあったので、団体の審査が必要ではないか。
トラブルが無いよう慎重に考えていかなければならない。
活用してもらうには、広く周知する必要がある。
- ・相模原市文化振興基金条例について事務局より説明
基金の原資はあるのか。
解決金の1.5億円が原資となる。
1.5億円は美術館整備のどちらに使うのか。
基金原資の解決金については、解決金受納までの経過を鑑み、(仮称)美術館(橋本)の整備費用に充当することとしている。

(2) 情報交換

- ・障害のある方の文化芸術活動について、意見交換を行った。
特別支援学校の児童・生徒が、地域の公民館祭りに参加している。
文化芸術活動に参加する機会を通して障害の理解が深まる。
障害福祉サービス事業所へギャラリーを貸し出し、作品展や物販などを行っている。
障害に関係なくワークショップの参加を募った。
みなさんにどのようによるこんでもらえるか考えてやっていきたい。
まちづくりセンター主催の福祉の集いに参加し、芸能発表を行っており、文化協会の構成団体も参加している。
関係者しかいないので、一般の方にもっと知ってもらったほうがよい。
地域の福祉の集いへ参加し演奏している。
施設について、障害のある方等に配慮した改修を行った。
車椅子や足の不自由な利用者がいた場合には、研修を受けた職員が案内等に対応

し、いろいろな方向から配慮を行い実施している。
車椅子の方の参加があるが文化財の周辺は階段が多く危険であるため、会員の中で対応している。
知的障害のある方も参加し、その方に誘導用の旗を織ってもらい大変感謝している。

(3) その他

- ・文化振興懇話会開催日程について事務局より説明
特に意見なし。

3 閉 会

さがみはら文化振興懇話会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	大神田 賢	相模湖文化協会		出席
2	小山内 清弦	相模原市文化協会	座長	出席
3	河村 豊子	相模原芸術家協会		出席
4	小林 明子	ギャラリースペース游		出席
5	佐藤 勝男	津久井文化協会		出席
6	進藤 喜養	城山文化協会		欠席
7	玉田 里佳子	女子美術大学		欠席
8	戸塚 厚生	相模原市文化財研究協議会	副座長	出席
9	友田 幸男	相模原市民音楽団体協会		出席
10	古田 政子	相模原市社会教育委員会議		欠席
11	穂苅 健二	相模原市自治会連合会		欠席
12	宮田 明人	相模原市公民館連絡協議会		欠席
13	森久保 光一	藤野文化協会		欠席
14	山本 英助	相模原音楽家連盟		欠席
15	湯山 洋	相模原市民文化財団		出席
16	渡邊 仁	相模原市立小中学校長会		欠席